

# 岐阜農林事務所の普及活動状況

平成26年8月29日現在

## 今月の重点活動

### ■祝大根 **栽培研修会を開催**

8月12日、JAぎふ正木支店において、羽島市の新規栽培予定者含む7名に対して、祝大根の栽培研修会を開催した。祝大根は、関西地区のお正月食材としてニーズが高く、毎年12月に収穫・出荷される品目である。農業普及課からは、今年の生産実績及び経営指標を提示し、収益性が高い品目であることを説明するとともに、品種特性や栽培上の留意すべきポイントを指導した。



【栽培研修会の様子】

## 活力ある新産地づくり

### ■ブロッコリー **ブロッコリー播種作業完了**

JAぎふブロッコリー生産連絡協議会では、7月25日～8月14日にかけて全自動播種機による播種を実施した(播種枚数は5,500枚;16ha相当)。その後、花き・水田経営農家7戸において育苗管理が行われている。今年は台風11号や長雨による日照不足等で育苗が難しい中での管理となっていることから、農業普及課は、かん水、液肥、病害虫防除等の細やかな助言を行い、苗の品質向上を支援している。



【播種作業風景】

## 売れる農畜産物づくり

### ■だいこん **第3回産地戦略会議を開催**

8月19日、JAぎふ本店において、JAと農業普及課の担当者による第3回だいこん産地戦略会議を開催した。会議では、これまでの会議で出された産地の問題点を項目毎に整理した上、それぞれに対する対策案を出し合った。検討の中で、栽培技術に係る部分について、複数の対策案が出されるなど、活発な議論ができた。今後は、まだ検討されていない項目の対策案を出し合うとともに、項目毎の対策案の順位付けなどを行い、産地側への提言案を作成することとしている。



【産地戦略会議の様子】

## 戦略的な流通・販売

### ■農産物直売組織 **岐阜地域農産物直売所研修会の開催**

8月5日、JAぎふはぐり支店において、岐阜地域朝市・夜市連合を対象とした標記研修会を開催した。当日は、生産者はもとよりJAの直売所担当者等の参加もいただいた。研修会では、直売所を運営する立場でおんさい広場はぐり店長から「直売所を上手に活用する方法について」、農業普及課からは、農薬検索システムの活用について、その他の関係機関からも、農産物直売所の動向や農薬の効果的な使い方など多くの情報を提供した。



【講演の様子】

### ■にんじん(各務原) **産地戦略会議**

8月20日 JAと農業普及課のにんじん担当で産地の維持拡大を目指し、産地戦略会議を行った。定期的実施しているが、今回で5回目となる。4回目までに確認し合った産地の現状、課題に対する解決策を話し合った。次回以降も残った課題の解決策を検討していく。



【会議資料】

## 多様な担い手の育成・確保

### ■ 担い手支援 **J A ぎふ水田農業担い手連絡協議会研究交流会**

8月8日（金）、J A ぎふアグリパークにおいて、管内全ての水田農業担い手を対象とする研究交流会が開催された。県庁及び関係団体からは今後の経営所得安定対策、農地中間管理事業等について情報提供され、農業普及課も、本年の稲作について、接近していた台風対策や現在進行中の新技術実証の経過を交えて報告した。



【研究交流会風景】


### ■ いちご **いちご塾**

8月9日、岐阜市のJ A 全農岐阜いちご新規就農者研修施設において、6名を対象とした「いちご塾」を開講した。農業普及課は、いちごの栽培技術、経営的メリット、流通・販売の現状など基本的事項についての講義を行った。今後、ベテラン農家や農業普及課、関係機関の担当者が講師となり、講義や定植作業などの実習を通じて、栽培技術の習得を目指していく。



【いちご塾の様子】

### ■ 柿 **柿新規就農に向けた研修生面接審査**

J A ぎふでは、県・市・柿振興会と連携して、本巣市で柿農家として就農を希望する研修生を募集し、8月3日に面接審査を行った。その結果、1名を研修生として受け入れ、10月から15ヶ月間の研修を行うこととなった。農業普及課は、関係機関と連携して、研修実施支援や就農支援を行う。また、H27年4月からの研修生募集も始まっている。



【面接審査会の様子】

## 魅力ある農村づくり

### ■ 小規模高齢化集落 **集落営農塾**

8月19日、揖斐川町役場において、集落営農塾を開催した。当管内の集落営農の重点指導地区である山県市青波地区を含む集落営農の組織化や法人化に関心のある農業者等約50名が集まった1回目は、講師の楠本雅弘氏から集落営農づくりや法人化の重要性等の助言を受け、質疑応答で終了した。2回目以降、青波地区を含む重点地区3組織を対象にワークショップ等を行い、今後の集落営農ビジョンづくりや法人化へのステップアップを推し進めていく。



【講義の一コマ】

### ■ 加工たまねぎ（羽島市） **たまねぎ研修会**

8月18日、市之枝営農組合で、たまねぎについての反省会が実施された。当該組合は昨年より収量を落としたものの、他産地より多い5t/10aを維持することができた。農業普及課は、収穫作業に支障をきたした雑草対策や費用の大きい購入苗から自家育苗の切り替えについて助言した。



【会議の様子】